

- ◆企画名 BLACK MUSIC CONCERT (idea を形に)
日 程 平成 26 年 12 月 10 日 (水)
場 所 関西大学 KU シンフォニーホール
参加者数 118 名 (ピア・サポータ 5 名、研修生 1 名、出演学生 37 名、一般学生 75 名)
目 的

本企画は、「idea を形に」の一環として、強いビート感・グルーブ感を特徴とするアメリカの黒人発祥の音楽である「ブラック・ミュージック」の魅力を伝えるためにコンサートを開催したいという関大生に発表の場を設けるために企画した。

目的の詳細は以下の通り。

- ①主催者の自己実現のサポート
- ②企画を実現する構想の過程で「想像力」「問題解決能力」「人と関わる力」を育むこと
- ③関西大学の中でイベントを行い成功させ、関西大学への帰属意識を高めること

内 容

A Cappella、JAZZ、FUNK、R&B、GOSPEL の 4 つのジャンル別に、それぞれ 1～3 曲のステージ演奏で、「ブラック・ミュージック」の魅力を伝えるコンサートを行った。

効 果

企画者が「イベントを成功させることで達成感を味わい、自分に対する自信・関西大学への帰属意識を深める」という狙い通り、充実感を得られた企画になった。併せて、他のサークルとコラボレーションしたステージ内容により、出演者同士の新たな交流の機会を創出することができた。また、参加者にとっては「ブラック・ミュージック」という普段授業では学ぶことのできない内容について知識を深め、文化的な視野を広げることに繋がった。

改 善 点 (反省)

- ・名札の準備が必要だった (参加者と出演者の区別がつきにくかった)。
- ・広報期間にもう少しゆとりを持ちたかった (広報方法の見直しが必要)。
- ・アンケート実施の検討もすべきだった。

感 想

KUSP は KU シンフォニーホールを使用することができ、また KU シンフォニーホールを使用する企画の実現をサポートできる団体であることから、それを活かした企画を今後さらに検討していきたい。

2012 年度以来の「idea を形に」企画の実施であったため、戸惑う点多かったが、企画立案者とともに実施まで活動する中でコミュニケーションに関する知識と技能を高めることができた。

関大生の中には、他にも多くのニーズが存在すると考えられることから、今後も様々な分野での企画の実現を目指していきたい。